
人による教育の価値を、AIなどテクノロジーで最大化させる レアジョブ EdTech Lab を発足 NTT コミュニケーションズと英会話習熟度の可視化実験を実施

英会話サービス事業を運営する株式会社レアジョブ（以下、レアジョブ）は、人×テクノロジーで教育の価値最大化を目指す R&D プロジェクト「レアジョブ EdTech Lab」を発足します。また、オンライン英会話レッスンデータの音声認識における技術活用を目的として、NTT コミュニケーションズ株式会社（以下、NTT Com）と共同で英会話習熟度の可視化実験を実施します。

レアジョブでは、サービスミッション「日本人 1,000 万人を英語が話せるようにする。」の実現に向け、オンライン英会話サービスを中心に英会話学習サービスを提供し、今まで累計 3,500 万回以上のレッスンデータが蓄積されています。2018 年 11 月には独自のレッスン受講システム「レッスンルーム」を全会員へ提供開始し、個別に最適な英語習得法の提案を行うなど、より細かなデータを集めていくことが可能になりました。以前より、このような強みをいかして主に将来のサービス実装を目的とした実証実験を強化しておりましたが、実験や研究結果の情報発信、また外部の教育機関や研究組織との連携強化などに向け、この度「レアジョブ EdTech Lab」の発足に至りました。

■レアジョブ EdTech Lab について

「レアジョブ EdTech Lab」は、人×テクノロジーで教育の価値最大化を目指す R&D プロジェクトです。より多く且つより確かなデータをもとに教育効果を実証する研究を行い、教育に関わるあらゆる領域における実用化を目指します。また、外部の教育機関や研究組織なども巻き込みながら、幅広く活動を展開していきます。

レアジョブ EdTech Lab : <https://www.rarejob.co.jp/lab/>

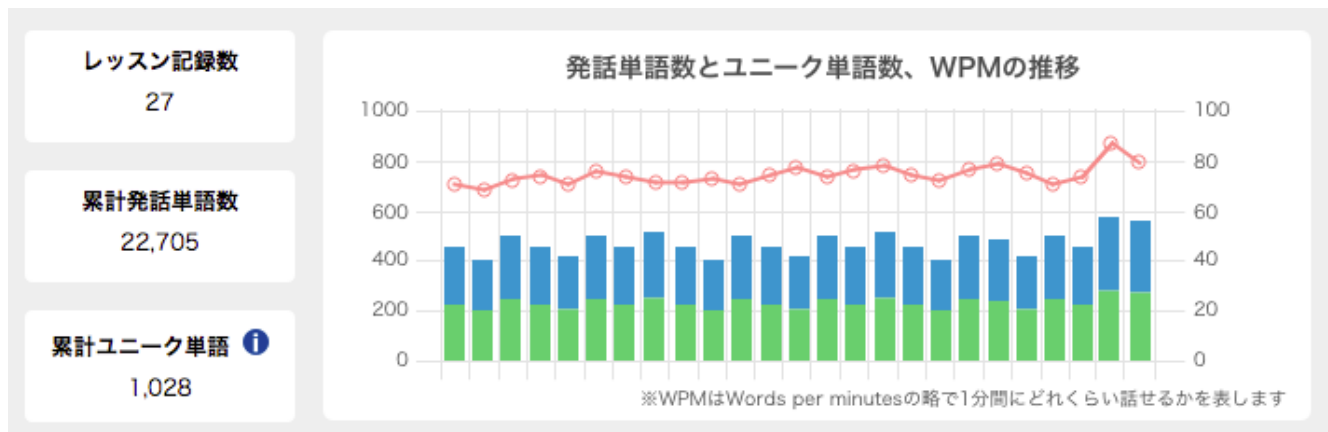
今後はまず、日本人の英語習得における過程を理論とビッグデータに基づき、自然言語処理や人工知能（AI）などの技術を活用して分析することで、個々の受講者に合った効果的な英語習得方法の提案を実施してまいります。

■NTT Com との英会話習熟度の可視化実験について

レアジョブ EdTech Lab では、効果的な英語習得手段の解を見つけるため、まず第一歩として英会話習熟度の可視化に取り組んでいました。しかし、自社システムによって、受講者のオンライン英会話レッスンの音声データを大量に保持し、分析を繰り返していくには限界があるなど、実証実験を進めるうえでの課題がいくつかありました。そしてこの度、WebRTC プラットフォーム「SkyWay」の利用で連携のあった、NTT Com に技術協力をいただき、オンライン英会話レッスンにおける英会話習熟度の可視化実験を共同で実施することになりました。

オンライン英会話レッスンの音声データは、NTT Com が新たに開発された「Media Pipeline Factory」によって連携されたストレージサービスで蓄積され、レアジョブで開発した発話解析 AI システムによって分析します。これにより、レッスン中に使用した語彙数の分析から受講者の習熟度の見える化などを実現します。

今後、受講者のフィードバックを得ながらサービス品質を強化し、学習意欲向上のサポートを目指して検証を進めてまいります。



発話解析 AI システムによる分析結果（開発中のイメージとなります）

【株式会社レアジョブについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 2F

代表者：代表取締役社長 中村 岳

URL：<https://www.rarejob.co.jp/>

事業内容： オンライン英会話サービス事業

グループビジョン「Chances for everyone, everywhere.」に基づき、世界中のより多くの人々が国境や言語の壁を越えて活躍できる社会をめざし、マンツーマンオンライン英会話サービスの「レアジョブ英会話」を主たる事業として展開しています。2014年6月には東証マザーズに上場し、現在、70万人(*)以上の会員、2,000社以上の法人企業、230校以上の教育機関など多くの方にご利用いただいております。今後、今までの英語教育の課題を解決し、「英語教育 3.0」という新たな波を作り上げていくことで、サービスミッション「日本人1,000万人を英語が話せるようにする。」を実現してまいります。

* 会員数は、当社の英語サービスすべての会員数を記載

■「英語教育 3.0」とは

読み書きが中心だった従来の「英語教育 1.0」

課題は「話す」がほとんどないことでした。

その課題に対して私たちは、オンライン英会話を提供する事によって解決してきました。

結果、オンライン英会話は世の中に広まり、英語を大量に話す場は圧倒的に増えました。

これが「英語教育 2.0」です。



しかし、英語教育における課題はまだ残っています。

私たちは、英語教育 2.0 における課題を解決し、日本人 1,000 万人を英語が話せるようにするために、新たな波となる「英語教育 3.0」を作り上げていきます。

■提供サービス

- ・ [個人向けオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」](#)
- ・ [「レアジョブ英会話」法人向けサービス](#)
- ・ [法人向け「レアジョブ英会話留学」](#)
- ・ [「レアジョブ英会話」教育機関向けサービス](#)
- ・ [2 ヶ月短期集中英会話プログラム「レアジョブ本気塾」](#)
- ・ [レアジョブ英語学習アプリ「RareJob Apps」](#)
- ・ [英語を手段にチャンスをつかむためのメディア「RareJob English Lab」](#)
- ・ [英語の価値を見つけるプロジェクト「WHY ENGLISH」](#)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 広報 荒川

メール：press@rarejob.co.jp TEL：03-5468-7401/FAX：03-5468-7402